

《令和2年 研究会活動紹介》

研究会名	代表者氏名
	石井 正稔
研究会名 略称: 仏教史料研究会	所 属: 総合佛教研究所研究員
活動紹介	
【活動内容】 本研究会は、歴史学の立場から仏教関係史料を取り扱い、研究をすすめることを目的としている。主に寺院関係の古文書・古記録などの史料の解読作業が中心となっており、真言宗豊山派寺院所蔵(千葉県所在)の聖教・古文書類の整理作業を行っている。現在は、参加者全員で目録の作成及び『交衆帳』の翻刻作業を進めている。歴史学を主体としていることから、くずし字の読解力が必須となるため、そのうした知識を得た者が望ましい。	
【活動実績】 ※出版/論文/受賞・研究助成の経歴など	
【令和2年度活動計画】 引き続き、史料の目録作成と『交衆帳』の翻刻作業の作業を進める。目録は、基礎データは出来上がっており、全体的にチェック項目などを増やし、目録の精度を上げる等、その内容充実化を目指している。『交衆帳』は、研究会参加者で分担しデータ入力をおこない、入力作業は完了している。今年度は、そこからデータを統合しメンバー全員での確認作業に移行する予定である。	